

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 363

1987. 11. 13

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. NIRJE コマンドの機能追加について 1
2. 英日自動翻訳システムATLAS-Iのレベルアップについて 1
3. 日英自動翻訳システムATLAS-IIのレベルアップについて 2
4. 文書処理システムODMの機能強化について 2
5. 「オンライン・データベース利用ガイド(第7版)」の
発行について 3

1. NIRJE コマンドの機能追加について

九州大学大型計算機センターからN-1ネットワークを介して他の大型計算機センターのリモートバッチ・サービスを受けるためのNIRJEコマンドに新機能が追加されましたのでお知らせします。追加された機能としては、NIRJEのモード・メッセージ(プロンプト文字列)の追加、CHANGEサブコマンドの新設、INPUT、OUTPUT、CANCELサブコマンドへのオペランドの追加などです。

追加機能の詳細は「利用の手引(ネットワーク編)」をご覧ください。

参考文献

1. 計算機マニュアル, FACOM OS IV/F4 MSP NINET-G使用手引書(利用者編)
V11L20系用78SP-2810-1

(ネットワーク室 電(内) 2518)

2. 英日自動翻訳システムATLAS-Iのレベルアップについて

11月16日(月)より、標記システムをレベルアップ(V01/L23)します。これに伴い、以下のような機能が強化されます。利用法の詳細については、参考文献[1, 2]を参照してください。

- a. 翻訳機能が改善される。
- b. 基本辞書の辞書内容が整備される。
- c. 科学技術用語辞書をレベルアップ(V01/L20)します。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV ATLAS-I 解説書(70AR-3000-3), 富士通㈱.
2. 森田ほか, 自動翻訳システムATLASの使用について, 九州大学大型計算機センター広報, 20, 3, 1987, 143-182.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

3. 日英自動翻訳システムATLAS-IIのレベルアップについて

11月16日(月)より, 標記システムがレベルアップ(V10/L21)します。これに伴い, 以下のような機能が追加・強化されます。利用法の詳細については, 参考文献[1, 2, 3, 4]を参照してください。

- a. 多義語及び多訳語の選択機能が追加される。
- b. 未登録単語抽出機能および未登録連語抽出機能が追加される。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP ATLAS-II 使用手引書(78SP-5761-2), 富士通㈱.
2. 計算機マニュアル FACOM OSIV ODM 解説書(70SG-6000-4), 富士通㈱.
3. 計算機マニュアル FACOM OSIV ODM 使用手引書(70SP-6010-4), 富士通㈱.
4. 森田ほか, 自動翻訳システムATLASの使用について, 九州大学大型計算機センター広報, 20, 3, 1987, 143-182.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

4. 文書処理システムODMの機能強化について

11月16日(月)より, 標記システムが機能強化します。これに伴い, 以下のような機能が追加・強化されます。詳細については, 参考文献[1, 2, 3, 4, 5]を参照してください。

- a. 1ページ当りのイメージデータの出力制限値を廃止する。
- b. ATF(英論文編集消書システム)のSCANNERコマンドで読み込んだイメージデータのODM文書への取り込みが可能になる。
- c. SINITコマンドによる数式・英文処理環境設定パネルの内容が追加される。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV ODM 解説書(70SG-6000-4), 富士通㈱.
2. 計算機マニュアル FACOM OSIV ODM 使用手引書(70SP-6010-4), 富士通㈱.
3. 計算機マニュアル FACOM OSIV FDMS/JEF 使用手引書(70SP-7662-1), 富士通㈱.

4. 計算機マニュアル FACOM ATF解説書(99SG-7260-3), 富士通㈱.
5. 九州大学大型計算機センターニュース, №361, 英論文編集清書システムATFのSCANNERコマンドの公開について.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

5. 「オンライン・データベース利用ガイド(第7版)」の発行について

7大学の全国共同利用大型計算機センターおよび学術情報センターでは, それぞれデータベースのオンラインサービスを行っており, 利用者は交換回線(電話)あるいはコンピュータ・ネットワークなどを介して手近な端末からどのセンターのデータベースでも利用できるようになっていました. この利用ガイドは, 各センターのデータベース・サービスの概略と簡単な利用法について解説したものです. このたび第7版が発行されました. ご希望の方は共同利用掛までお申し出ください.

(共同利用掛 電(内) 2515)